

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公表番号】特表2003-502008(P2003-502008A)

【公表日】平成15年1月21日(2003.1.21)

【出願番号】特願2000-563814(P2000-563814)

【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**A 6 1 K 35/14 (2006.01)**

**A 6 1 K 48/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/00 (2006.01)**

**A 6 1 P 35/02 (2006.01)**

**A 6 1 P 37/02 (2006.01)**

**C 1 2 N 7/00 (2006.01)**

**C 1 2 N 7/04 (2006.01)**

**C 1 2 N 5/10 (2006.01)**

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

C 1 2 R 1/93 (2006.01)

C 1 2 R 1/91 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 35/14

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 37/02

C 1 2 N 7/00

C 1 2 N 7/04

C 1 2 N 5/00 B

A 6 1 K 35/76

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 R 1:93

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 R 1:91

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 R 1:91

C 1 2 N 7/00

C 1 2 R 1:93

C 1 2 N 7/04

C 1 2 R 1:93

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月27日(2006.7.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 感染細胞中で起こる抗原のプロセッシングを妨げることなく樹状細胞へ効果的に感染し得る弱毒化ヘルペスウイルスであって、機能性UL43遺伝子および機能性vhs遺伝子を欠失している前記ウイルス。

【請求項 2】 単純ヘルペスウイルス1型または2型である請求項 1 記載のウイルス。

【請求項 3】 ICP47をコードする機能性遺伝子をさらに欠失している請求項 1 または 2 に記載のウイルス。

【請求項 4】 機能性ICP34.5遺伝子をさらに欠失している、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

【請求項 5】 機能性UL43遺伝子、機能性vhs遺伝子、機能性ICP47遺伝子および機能性ICP34.5遺伝子を欠失している、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

【請求項 6】 機能性VMW65遺伝子を、該遺伝子内の転写活性化活性を破壊する該遺伝子の変異により欠失している、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

【請求項 7】 ICP0、ICP4、ICP22、およびICP27をコードする遺伝子から選択される少なくとも1つの機能性前初期遺伝子を欠失している請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

【請求項 8】 ICP22をコードする機能性遺伝子を欠失している、請求項 7 に記載のウイルス。

【請求項 9】 異種遺伝子を含んでなる請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

【請求項 10】 前記異種遺伝子が、非腫瘍細胞と比較して腫瘍細胞中もしくは腫瘍細胞表面上で発現レベルが増大するポリペプチド；または非腫瘍細胞中には存在しないが腫瘍細胞中もしくは腫瘍細胞表面上に存在するポリペプチド；または免疫応答を改変し得るポリペプチド；をコードする、請求項 9 に記載のウイルス。

【請求項 11】 前記異種遺伝子が、寄生生物、ウイルスまたは細菌起源のポリペプチドをコードする、請求項 9 に記載のウイルス。

【請求項 12】 前記ウイルス起源のポリペプチドが、ヘルペスウイルス由来である、請求項 11 に記載のウイルス。

【請求項 13】 前記異種遺伝子が腫瘍抗原をコードする、請求項 9 または 10 に記載のウイルス。

【請求項 14】 1 より多くの異種遺伝子を含む、請求項 9 ~ 13 のいずれか 1 項に記載のウイルス。

【請求項 15】 請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のウイルスに感染した樹状細胞。

【請求項 16】 ヒト樹状細胞である、請求項 15 記載の樹状細胞。

【請求項 17】 *in vitro*で樹状細胞を請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のウイルスに感染させることを含んでなる、請求項 15 または 16 記載の細胞の製造方法。

【請求項 18】 請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のウイルス、または請求項 15 もしくは 16 記載の細胞を、製薬上許容し得る担体または希釈剤とともに含んでなる医薬組成物。

【請求項 19】 病原体の感染を治療もしくは予防するための、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のウイルス、または請求項 15 もしくは 16 記載の細胞。

【請求項 20】 病原体の感染がウイルス感染である、請求項 19 に記載のウイルスまたは細胞。

【請求項 21】 ウイルス感染がヘルペスウイルス感染である、請求項 20 に記載のウイルスまたは細胞。

【請求項 22】 癌の治療または予防のための請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載のウイルス。